

緩衝緑地整備における事業効果の分析と樹林構造の評価

目次

	頁
はしがき	
概 要	
序 章：緩衝緑地整備の発展過程	1
1. 産業公害の激化と公害防止事業団の設置	1
2. 公害防止から環境問題への対応	1
3. 環境問題のグローバル化への対応	3
まとめ	3
第1章 共同福利施設事業の制度的意義と役割	5
1. 制度創設の社会的背景と経緯	5
2. 共同福利施設建設譲渡事業制度の特性と制度スキーム	7
3. 事業費の構成と財政支援措置の推移	8
4. 公害防止計画における位置づけ	8
5. 早期整備	13
まとめ	13
第2章 共同福利施設事業における財政支援措置	15
1. 研究の方法	15
2. 制度的特性と理論値での比較	15
3. 事業実績での比較	17
まとめ	19
第3章 共同福利施設事業の事業効果分析	20
1. 姫路地区共同福利施設事業の概要	20
2. 事業効果の計測	21
3. 考察	28
まとめ	29
第4章 緩衝緑地におけるパターン植栽と樹林の変容	30
1. 既往研究との関連	30
2. 調査の方法	31
3. パターン植栽の概要	31
4. 調査の結果	35
5. 考察	38
まとめ	38
第5章 植栽後約30年が経過した緩衝緑地の樹林構造特性	40
1. 現況の樹林構造	40
2. アスペクト比からみた樹木の生育特性	42

3. アスペクト比と材積指数からみた樹林構造特性	44
4. 考察	46
まとめ	49
第6章 緩衝緑地の樹林構造の評価	51
1. 調査の方法	51
2. 調査の結果	51
3. 樹林の評価	55
まとめ	58
終章	59
1. 結果	59
2. 今後の課題	60
参考資料	
参考資料-1 樹木調査結果	63
参考資料-2 土壌調査結果	104